

雲北陵月報

No. 413

令和2年1月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷



講演会

年頭にあたって

中学副校長 高橋 豊

皆さんの中で、今までに誰かの講演を聞いて心が打たれた人はいませんか。私の場合、仕事柄、多くの人の講演を聞く機会に恵まれました。記憶力が衰えた頭で思い出してみたら、最初に浮かんで来た人は、プロ野球の監督だった名将野村克也さんです。野村さんのお話はすぐに使えるものでした。それよりも、人間性と言うか、惹きつけ包み込むようなオーラに心が動かされました。次は、と考えると、すぐに浮かんでくる人はいませんでした。何十人のお話を聞いても、結局、しみこんでいる人は少なかったのです。皆さんはどうですか。一人か二人浮かんだ人がいれば素敵なことだと思えます。ただ、今思い出せなくてもいいのです。ある時に突然あの言葉、あのやり方など記憶の底から浮かんでくるのが結構ありますから。「人生には、偶然も無駄もない」と言う名言が頭をかすめます。

もし皆さんが、講演会を頼まれ、「何でもいいので話をしてください」と言われたら何を話しますか。私の場合、今までの教師生活から題材を見つけることにしました。実験と現場感覚を全面に出して話すでしょう。その一部を紹介します。

まだ若い頃、市内のある中学校に勤

務していた時のことです。中学が荒れていた時代でした。私は三年の担任をしていましたが、毎日何もなかったことはありませんでした。文化祭の合唱コンクールの練習は全くまとまらず、男女の言い合いも絶えないバラバラな状態でした。本番が近づいてつれ、せば詰まっていたのか意識が高まってたのを感じていました。そして本番。生徒たちは一丸となって、課題曲と自由曲の「大地讃頌」を目を輝かせて熱唱してくれました。聴いていると鳥肌が立ち、身が震え、大粒の涙が溢れ落ちました。あのような全身にまで及ぶ感動は初めてでした。終礼でもう一度歌うことになりました。そこでもみんなが泣きながら歌いました。青春ドラマが現実となりました。生徒の力は無限であり、本当にすごいのだと心底分かりました。その感動から、私は中学校教師としてずっと頑張っている覚悟が決まりました。その点では私は生徒に導かれて生きてきたと言えるでしょう。

さて、このようなお話、どれ程の人の心に残るのでしょうか。

昨年は、運動部、文化部を問わず、皆さんの活躍に胸が熱くなる場面がありました。今年も、私たちを導いてくれるような皆さんの活躍を大いに期待しています。

北陵生、全国で活躍！

男子バスケットボール部

第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会
時 12月24日
於 武蔵野の森総合スポーツプラザ
1回戦 本校 77-88 國學院大學久我山(東京)



國學院大學久我山との試合
○大会総評
開催地代表の國學院大學久我山高校との戦いであつた。前半は本校らしい走力を生かした試合内容であつたが、後半は相手の高さを打ち破ることができず敗退した。

3年生にとつては最後の大会であつたが、全国での勝利を挙げることはできなかった。新チームにはこの経験を生かして、先輩の思いを引き継いで、またこの舞台に立つて欲しいと強く感じた。

最後になりましたが、保護者、OBの皆様をはじめ、たくさんの方々から多くのご声援をいただき誠に有難うございました。(顧問 手島幹人)

卓球部

山本歩全国ベスト8！

島根県勢46年ぶりの快挙

令和元年度全日本卓球選手権大会
時 1月13、19日
於 大阪市中央体育館

＜ジュニア男子シングルス＞

- ベスト8 山本 歩(22北陵)
- 1回戦敗退 杉浦大和(中3北陵)
- （一般男子シングルス）
- 3回戦敗退 原田哲多(14北陵)
- （男子ダブルス）
- 1回戦敗退

山本駿介(32北陵)・井上友希(33北陵)組
○大会総評
ジュニアの部に出場した山本歩が島根



山本歩が全国大会でベスト8入賞を果たした。県勢としては昭和49年以来となるベスト8入賞(ランキング8位)を果たした。初戦から厳しい試合の連続であつたが、得意とするバックハンドを生かし、競り合

った場面でも積極的にプレーできたことが好成績に繋がった。今後更に精進し、日本を代表する選手に成長してくれることを期待している。(顧問 古瀬泰之)

中国選抜3年連続4回目の優勝！ 全国選抜出場決定！

第47回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選会
時 12月20、22日
於 シンヨーオーケアリーナ (呉市総合体育館)

【男子団体】

予選リーグ

決勝リーグ

本校	3-0-0	廿日市(広島)
本校	3-0-0	鳥取西(鳥取)
本校	3-0-0	倉敷工業(広島)
本校	3-0-0	出雲西(島根)
本校	3-0-0	松徳学院(島根)
本校	3-0-0	早鞆(山口)
本校	3-0-0	近大福山(広島)
本校	3-0-0	鳥取敬愛(鳥取)
本校	3-0-0	関西(岡山)



3連覇を達成した団体メンバー

○大会総評
昨年度優勝校としてのプレッシャーが重くのしかかる中、主将の三村を中心としたチームワークで難局を乗り越えることができた。特に山場と考えていた関西戦で、本校らしい粘り強い試合ができたことは今後の自信に繋がる。遠路会場まで応援に駆けつけていただいた保護者の方々の力というのも選手にとって非常に心強いものであった。温かいご声援有難うございました。(顧問 古瀬泰之)

第29回西日本高等学校選抜卓球大会

時 1月4～5日
於 カミアリーナ

〔男子団体〕 3位

〔出場メンバー〕

三村悠斗(24北)、山腰洋平(22北)
杉浦大和(中3)

○大会総評

決勝リーグで招待チームの朝日大学(岐阜)と愛工大名電高校(愛知)に敗れたものの、全国合宿でレギュラー2人を欠く中、3位に入賞することができた。決勝リーグでは強豪校と数多く試合をすることができ、今後に向けて良い経験を積むことができた。夏以降の練習で選手個々の力は付いてきていると感じている。今後も試合が続くが、コンディションを整えて、良い成績が収められるように頑張りたい。(顧問 古瀬泰之)

吹奏楽部・合唱部・写真部

令和元年度島根県児童生徒学芸顕彰式

時 12月26日
於 島根県庁



島根県児童生徒学芸顕彰では、全国大会で活躍した児童生徒、指導者が教育長より顕彰を受ける。今年は本校から吹奏楽部・合唱部・写真部が顕彰を受けた。吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクールと全日本マーチングコンテストでの銅賞、合唱部は全日本合唱コンクール全国大会での銀賞、写真部は全国高等学校写真選手権で優秀賞を受賞したことが評価された。こうして本校生徒達が全国レベルで活躍できるのも日頃から支えてくださっている方々のお蔭であり、心より感謝申し上げます。

男子バスケットボール部

第54回島根県高等学校バスケットボール新人大会

時 1月10～12日
於 松江商業高校
松江工業高校

〔男子〕

2回戦	本校	115-55	浜田商業
準々決勝	本校	100-53	開星
準決勝	本校	90-75	松江西
決勝	本校	67-71	松江東
結果	2位		

○大会総評



松江東との試合

新チームになって初めての公式戦であったが、全国大会の経験を生かし決勝に進出した。決勝では松江東に敗れたが、今後の成長に期待を寄せて試合であった。当日は保護者の皆様をはじめ、多くの方々にご声援をいただき誠に有難うございました。(顧問 手島幹人)

〔女子〕

2回戦	本校	109-29	浜田
準々決勝	本校	77-45	出雲
準決勝	本校	67-89	松徳学院
3位決定戦	本校	58-98	明誠
結果	4位		

○大会総評

準決勝の松徳学院との試合では、相手チームにゲームを支配され、徐々に点差をつけられた。3位決定戦でも同じように、自分達の力を出し切ることができず試合が終わってしまった。次は県総体となるが、この冬しっかりと練習に打ち込みたい。当日は保護者の皆様をはじめ、多くの方から応援いただき有難うございました。(顧問 篠原勝利)

バレーボール部

島根県高等学校新人バレーボール大会

時 12月13日
於 平田高校体育館

益田翔陽と松江南と戦いました。勝つことはできませんでしたが、この試合を通して、仲間の大切さを改めて感じました。この悔しさをバネにし、次の大会に向けて頑張っていきたいと思います。主将 鳥屋尾夏美(21鮎)

ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス選手権

時 12月21日
於 鹿島総合体育館

新人戦の上位ベスト32が出場する大会に本校からは3ペアが参加した。接戦をものにすることができず、ベスト8が最高という悔しい結果であった。全国選抜中国予選に向けて、しっかりと準備していきたい。(顧問 佐々木雄志)

全国選抜中国地区予選

時 1月17～19日
於 ローズアリーナ(福山市)

各県1位リーグ	1勝3敗
本校	0-3 神辺旭
本校	0-3 岡山南
本校	1-2 南陽工業
本校	2-1 米子松蔭

○大会総評

目標としていた全国選抜への出場は叶わなかった。年末から年明けにかけて遠征を重ね、多くの経験を積み挑んだ大会であったが、接戦をものにできず悔しい敗戦となった。チームとしての甘さが目立ち、技術面、意識の部分とも不足していたと痛感した。夏に向けてもう一度、色々な部分を見つめ直し強化していきたい。遠方まで応援に来ていただいた保護者の方に感謝申し上げます。(顧問 佐々木雄志)

吹奏楽部

ウィンターコンサート開催

時 12月21日
夜の部 18時30分開演
昼の部 14時開演
於 出雲市民会館大ホール

第13回を迎えた「ウィンターコンサート」を開催した。本公演は、吹奏楽部の1年を締めくくるコンサートであり、3年生にとっては最後のステージとなる。このコンサートに向け、生徒のみならず保護者会も一丸となり、演奏会の成功を目指し練習と準備を重ね本番に臨んだ。

1部の吹奏楽ステージでは本年度の吹奏楽コンクールやマーチングコンテストで演奏した曲目を中心に構成した。2部では、毎年恒例となった本校なごなた部の演奏と、吹奏楽の演奏のコラボレーションステージを披露し、なごなた部の迫力ある演奏にお客様から大きな歓声と拍手をいただいた。

3部は「オズの魔法使い」をテーマにステージドリルを行い、美術科の石倉正先生のご協力をいただき、スペクタクルなショーとなった。

部員達は万感の思いを込めた演奏を披露し、素晴らしいコンサートとなった。当日は2公演で1600名を超えるお客様にご来場いただき、盛会裏に終えることができた。多方面にわたる皆様のご支援に感謝し、これからも地域に愛されるバンドを目指し、変わらぬ精進していきたい。(顧問 原田実)



2チームともに金賞！中国大会へ 第43回全日本アンサンブルコンテスト県大会

時 12月22日
於 アルテピア(安来市)

本校からは2チームが出場し、美しい音色で素晴らしい演奏を披露し、会場を魅了した。結果、島根県代表として、2月にとりぎん文化会館梨花ホールで行われる中国大会への出場権を獲得した。

中国大会では、更に質の高い演奏ができるよう精進していきたい。

(顧問 竹内康貴)

・サクソフォン4重奏 金賞・県代表
四重奏曲/A、デザンクロ
・金管8重奏 金賞・県代表
第1旋法によるカンツォン／
G. ガブリエリ

合唱部 第23回クリスマスコンサート開催

時 12月22日
於 ビッグハート出雲白のホール

今回のコンサートは4部構成とし、松下耕作曲の「ヒカリ」から始まり、定番のクリスマスソング等様々なジャンルの楽曲を披露した。その中でも2部の「紅白歌合戦」では、紅組の女子はかわいいダンスを披露し、白組の男子は力強い歌声で観客を大いに沸かせた。また3部では、ミュージカル「リトルマーメイド」の歌を中心に、ディズニー映画やJ-POPを交えて繰り広げられる「トリトンのコンサート」を披露し、楽しいコンサートとなった。

直前に部内でインフルエンザが流行し、プログラムを一部変更するなど生徒達是对応に追われたが、短い時間の中で懸命に練習に励んだ。3年生にとっては最後のステージとなったが、それに相応しく、十分に力を尽くしたコンサートとなった。



また、本校の創立百十周年記念として来場者へのシクラメンプレゼント抽選会も大いに盛り上がり、小学生以下の来場者へのお菓子プレゼントも大変好評であった。
多くの方々にご協力いただき、無事コンサートを終えられたことを、この場を借りてお礼を申し上げます。
(顧問 太田裕子)

一斉書写

令和2年を迎えた1月9日、今年度3回目となる「一斉書写」を実施した。3年生にとっては中学・高校生活最後となる本校の伝統行事であったが、それぞれが色々な思いで半紙に向かうことができた。新年の決意も新たに、令和2年の本校生徒の活躍を期待したい。



創立者 水谷キワ先生

命日 墓参



本校創立者水谷キワ先生の命日である1月16日(木)、生徒を代表して、中学新生徒会長奥田林太郎(中2)、高新生徒会長三宅優也(25北陵)ら6名で大念寺を訪れ墓参をした。新生徒会としての最初の仕事として、キワ先生に新生徒会の発足をお伝えするとともに出雲北陵中学・高等学校の更なる飛躍と発展を誓った。



ダンス同好会

島根県高体連ダンス発表会

時 12月11日

於 出雲市民会館



初参加の中、生徒自身が曲を選び、振り付けも考えた。また、体を大きく動かすことと、全体で動きを揃えることを課題とした。当日は構成の凝ったチームが多く、生徒らの刺激になった。講評会ではテーマに沿った振り付けや、はつらつとした表情を評価いただいた。次回は動線に曲線的な動作や立体感を加えることを課題とし、研鑽していきたい。

(顧問 八木世津子)

中学校

第3回 校外講師特別講座

時 12月19日
於 北陵ホール

2学期の保護者会に併せて、今回は出雲ケーブルビジョンでおなじみの、藤岡大拙先生をお招きし、全校生徒及び保護者を対象としての特別講座を開催した。藤岡先生には「松平不昧公の人柄」の演題で、名前はよく知られている不昧公の生き方や人となりを知りやすくお話いただいた。

不昧公は、自己を磨くために茶道や禅を極められ、それを広められたこと、わずか十七歳という若さで家督を引き継ぎ、松江藩主として厳しい財政難を救われたこと等、大変勉強になるお話であった。

生徒の感想には、「藩の借金をなくし、その上黒字まで引き上げたのがすごい。」「不昧公の言われる、『客の心になりて亭主せよ、亭主の心になりて客いたせ』を意識して、相手の心を大切にすればきっと平和な世の中になるといった。」「などがあつた。



作品と研究

中学校書初め作品より



中学生は今年の目標や抱負、大切にしたい言葉を選んで書初めを行いました。一年生は行書体に初めて挑戦し、筆運びや点画の変化に苦戦しながら書き上げました。

作品①

勇氣

柳樂紗月

「勇氣」

私は今年、勇氣を持てる人になりたいです。今までの私には、なかなか勇氣を出せず、行動する前に諦めたことがたくさんありました。だから、今年は勇氣を持ちたいと思いました。具体的には人に自分の意見を言えるくらいの勇氣です。今年いきなり勇氣のある人になれるわけではありませんが、小さなことから少しずつ挑戦できるように頑張ります。

作品②

笑顔
花乃

「笑顔」

私は、「笑顔」を選びました。選んだ理由は、去年のニュースで交通事故や殺傷事件について取り上げられているのを多く見かけたからです。車との衝突で亡くなった命や、自殺や他殺などのトラブルで亡くなった命、中には小さな命を失った家庭もありました。事故が起こるたびに私は笑顔も一緒に失われていると思います。しかし、実際に調べてみると、去年の交通事故死者は一昨年よりも減っています。他の事件数も同じように減り、その分人々の笑顔が増えるようにと、この言葉に希望を込めました。

作品③

環境

松井美柑

「環境」

私が来年大切にしたい言葉は「環境」です。理由は、現在、地球温暖化や海面上昇といった環境問題が起こっていて、人々も動物も困っているからです。これらの問題は進んでいて、日本では今年、たいへん大きな台風が来しました。日本だけ

作品④

元気

津本晃直

「元気」

来年の目標は、一日も休まずに元気に学校に行くことです。理由は、今年は何回か学校を休んでしまったことがあるので、それが来年にはないようにしたいと思ったからです。また、来年には高校受験があり、元気でないといけないのでこの漢字にしました。これを達成するために手洗いやうがいなどの体調管理をしていきたいと思っています。

作品⑤

飛翔

足立翔

「飛翔」

来年はいよいよ高校生活が始まり、環境が変わったりして困ることもたくさんあると思います。はばたくように未来に飛び出すことを目標にしたいのでこの漢字にしようと思いました。高校では勉強や部活

作品⑥

成長

衣笠ことね

「成長」

私がこの言葉にした理由は二つあります。一つ目は、来年の四月には中学生から高校生になり、新たなスタートを切ることになるからです。良いスタートが切れるように今から頑張ります。二つ目は、来年は料理ができるようになりたいからです。毎日忙しい母のためにもおいしい料理がつけれるように成長していきたいので努力しようと思います。

など、今までより楽しい高校生活にするために受験勉強を頑張りたいです。

今月
1枚

新年の飾り付け



美術部による
「北陵まちなか美術館」での展示
(出雲市市町)